

疫病・魔除けを祈願

お人形様

〔田村市船引町〕

船引の「お人形様」は、疫病や災難が侵入しないよう、村境や街道筋に睨みをきかす神である。

現存するお人形様は、船引町内の屋形・朴橋・堀越にある三体系。かつて、三春町から小野町（現田村市）を通り、平（現いわき市）に至る道（現在の県道門沢・三春線）が警城街道と呼ばれた頃、その街道沿いに五体の人形が祀られており、「警城街道の五人形様」と親しまれていたという。

お人形様は、身の丈4メートル、大鬼のよ

うな形相をして、手になぎなたを持ち、腰に大きな刀をさし、両手を広げて通せんぼの姿で立つ。野性味あふれる風貌と、その大きさに圧倒される。

百九十年に渡って受け継がれてきたお人形様は、毎年陰暦の三月十五日に「お衣替え」を行う。茶・赤・白などの顔料で面の化粧を直し、髪の毛の杉葉を取り替え、菰や縄の飾りを新しくしたりするが、近親者に葬式があつた人は、参加できないと聞く。

道ばたにも文化財



〔ミズナ（アブラナ科アブラナ属）〕

京都原産の京野菜で、関西では『水菜』、関東では『京菜』と呼ばれる。ひと株から50～60本の葉が密生し、大きく育てば1株4kgにもなる。最近是一年中出回っているが、旬は10月～3月。ビタミンCが豊富で、鉄分やカルシウムも含む。



畑のはな